

「自由とは」

2015年11月21日(土)

会場：ブランノワール白金高輪

参加：13名

司会・文責：野田

1. 概要

- ・自由が制約されることの苦痛と価値、制約から解放されて自由になることへの不安、自由そのものの価値について議論しました。

2. 対話

- ・自由であると、何をするか、自由に選べることが大変である。自分の選択がまともなのか、周りの目が気になり、不安になる。嫌なことを考えてしまう恐怖がある。
- ・束縛があるから自由の価値がある。制約こそがインフラである。制約されることで何をすべきかが示される。
- ・行動する時は選択肢が一つに絞り込まれる。選択肢が多いことは自由ではない。
- ・選択肢を選ぶコストがある。多数の選択肢から選ぶための判断力が必要である。
- ・生まれながらの自由という考え方と、制約に対する自由という考え方がある。制約に対する自由という考えでは、制約を意識すると自由になる。
- ・自由の価値は状況による。
- ・自由は手段に過ぎず、目的ではない。目的は例えば自己実現。何かをするときに、自由がないと困る、インフラのようなもの。欲求を制限され、目的を達成できないことが自由でないことである。

3. まとめ

- ・自由であることには価値があるものの、いざ制約から解放されると、周りの目が気になって何をしたらいいか不安に感じてしまう。いっそのこと制約があった方が楽だという意見がありました。一方、自由が本来の価値であり、制約はやむを得ないが、本来はない方が良いものという意見があり、両者の対立は対話では解決しませんでした。

以上